

# ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第25号 平成14年3月15日 発行

発行者 神戸婦人同友会 子供の家  
社会福祉法人 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3  
〒651-0014  
tel 06 6491 8953 fax 06 6498 3444  
支援センター (tel, fax) 06-6491-1211  
E-mail (子供の家) info@kocomono-ie.org  
(支援センター) candy@kocomono-ie.org  
URL http://www.kocomono-in.org

先日、ある職員が宿直をしていましたら中三の男の子が玄関から入ってきてこう言いました。四人の中高生で施設の周辺をランニングしていると、ある建物のかなり高いところの穴から犬の泣き声がするので、一人の子が施設の折り畳みはしごを持っていつて登り、助け出そうとしたがどうしても引き出せないのが悩んだあげく、九番で救急車を呼んだ。子供の家の電話番号を言ったので、かかってくるかも知れない、と、とりあえず報告に戻ってきたんだ、ということでした。思わず「えっ、救急車。そんなんきてくれるの、始め動物は対象ではないと言われたけど、とにかく見に行きま、と、と言ってくれた」といったや



子犬はしご

とりがあり、その後しばらく経って帰ってきた子に「どうなった」と聞きますと、「やっぱり出せないので、今晩ははしごで押さえておいてほしい、明日朝また来るから、と言われたことでした。」「はしご勝手に持っていくのはいかんね。明日朝無くなっていたら、弁償させなアカンな。」「ほんまや」などと冗談言つて別れましたが、今朝「どうなったん」と聞くと小犬はもうおらず、はしごは外においてあるとのこと。」「はしご倉庫にちゃんとしまっというや。」「むちゃ汚れとるから、きれいにしてから片づけておく」など会話して、そのままばたばたとして忘れてしまっていました。何が言いたかったという、小犬を助けようとして救急車を呼んだ子どもたちの心持ちと、はしごのことをさかんに言った職員との会話の珍妙さについてです。ちなみにこの子たちは、施設対抗のマラソン大会に備えてランニングをしていたのです。十時前後のことです。

## タッチラグビークラブ

### 「リトルキウイズ」近畿大会二連覇

二月十七日(日)しあわせの村にて、第二回近畿タッチラグビー大会が開催され、我が施設のタッチラグビークラブ「リトルキウイズ」が逆境を克服し見事エングロイラス二連覇を果たしました。ベストメンバーが揃わない中で、スタートでしたが、キャプテンを筆頭に参加した



子ども達一人一人が精一杯の頑張りを見せ、全勝優勝を勝ち取りました。最後の試合はなかなか決着がつかず、サドンデスとなりましたが、見事子ども達だけの力で決勝点をもち取りました。参加した他チームも年々スキルアップしており、先駆者の立場だったリトルキウイズも追われる立場となっています。今後子ども達ともどもにスキルアップを目指していきたいと思っております。さて、今回の試合に先だって、神戸新聞社の記者さんからの依頼で取材を受けました。まず最初に練習の核となつて頑張っている子ども達の取材。延々二時間近くの白熱した話だったようです。その後、初期から練習に参加している職員が少し話を



施設でボランティア活動をするのは初めての体験でした。実際、子供の家でボランティアをさせて頂くことが決まった時、「子供の家にはどんな子どもたちがいるんだろう?」「子どもたちに上手く馴染めるだろうか?」と心の中が不安でいっぱいでした。しかし、子供の家のボランティア活動で子どもたちと関わっていくにつれ、不安は消えてしまいました。子供の家で私は子どもの宿題を手伝ったり、一緒に遊んだり等の活動をしています。こうした活動を通し、私は子どもたちの優しさに何度も触れました。例えば、小学3年生の男の子が算数の応用問題の解き方が分からずに困っていると、他の子どもがやって来て、「お前、この問題わからないの?僕、やり方知ってるから、教えたるわ。」と自ら友達を助けます。また、私が真面目に緊張しながら子どもたちの宿題をチェックしていた時、ある子どもが、「お姉ちゃん、リラックスメーデー。もつと、くつろぎな。」と、言いながら、面白い顔をして、私をリラックサさせてくれました。子どもたちのこうした優しさが私の不安を消してくれたのです。子どもたちの宿題を手伝ったり、子どもたちと遊んだりする以外に私が好きなことは、子どもたちをおんぶすることです。最初、小学生の子どもたちに、「おんぶして。」と言われたときは、「小学生の子どもたちでも、おんぶをして欲しいときがあるのか。」と驚きました。しかし、その子どもをおんぶすると、普段はにぎやかに走り回って遊んでる子供が、私の背中の上では私の首にしっかりと自分の腕を

回して、静かにじっとしていました。その子どもは体温を背に感じながら、子どもたちに触れる事によって、また、子どもたちも私達に触れる事によって、お互いが暖かさを感じる事ができるのです。その暖かさは言葉で表現されるより意味深いものだと知りました。私が子どもたちに会えるのは週に一度、ほんの二時間程です。子供の家を訪ねる度に子どもたちの笑顔と優しさに出会います。そして、私が子どもたちに願う事は、大人になっても他の人達に対して優しい心をもち続けてほしいということです。子供の家の子どもたちは優しさ豊かな創造性と想像力をもつ素晴らしい子どもたちばかりです。私はこのような素晴らしい子どもたちに出会えて、本当に良かったと思つています。これからも、子供の家のボランティアの一人として、子どもたちと過ごす時間を大切にしていきたいと思つています。

#### スポーツボランティア

清住 砂織 さん

私は子供の家のホームページ「ぼこ・あ・ぼこ」を見つけたことをきっかけに、昨年の六月からボランティアをさせて頂いた。月二回程度の体育館の開放日にお邪魔させて頂いた。子ども達と一緒にバレーボールをしたり、バトミントンをしたりしています。初めは、子ども達に受け入れてもらえなかった。私も不安でした。私はバレーボールの経験があったので、バレーボールを通して多くの子ども達と関わっていくことができていくように思っています。ついつい私が必

死になって教えてしまうこともありますが、子ども達もそれに応えてくれたりするので、その時はとても嬉しく思っています。子ども達と関わっていく中で、難しく思うことも多くあります。そのたびに自分なりに考え行動するように心がけています。今までに子ども達に成長させてもらったことは多くあるように思っています。体育館で過ごしている中で、職員さんと子ども達との関係は素晴らしいものであると思つています。職員さんは担当の子どもに関わらず、全ての子ども達とよい関係が築けているように思いました。月二回と少ない機会ではなかなか子ども達と仲良くなるのは難しいかと思つていました。今では赤いジャージを目印に覚えていくれたり、バレーボールのお姉ちゃんと言つてもらったりと私にとつて嬉しいことや楽しいことがいっぱいあります。ボランティアを通して、多くのことを学ぶ機会を与えていただいています。

#### 学習・あそびボランティア

吉田 健之 さん

僕は、昨年七月から週一、二回学習ボランティアとして子供の家に通つていきます。子供の家では、小学生男児の学習指導を主に担当していますが、女の子や幼児さん達と遊んだりすることもあります。学習指導と言つても音読を聞いたあげたり、分からないことを教えてあげたり、分らないで、実際には一緒に遊んでいる時間の方が長いかもしれません。ここに通うようになって九ヶ月が過ぎようとしています。一番苦労するのは子どもたちが学校から帰つて

きてもなかなか宿題に取りかからうとしないことです。学校から帰ってくる時間帯がおやつ時間とぶつかるため、おやつを食べてからする子がほとんどで、食べ終わってから宿題をしないでそのまま遊んでしまふ子が多いので、机の前に座らせるまでが大変なのです。でも、そんな子ども達を見ていたら僕自身も小学生時代に戻つたような気がして、毎回楽しいです。もつとも学習内容は僕たちの頃と比べると難しくなつていきますし、高学年の子どもたちの宿題などは、子どもたちに尋ねられてもすぐには分からないことの方が多く、僕の方がオロオロしてしまうことがあります。逆に僕の方が子どもたちから色々な事を教えてもらつて良い勉強をさせていた。いてあります。子供の家では学習指導以外にも昨年は、夏祭りのお手伝い、子どもたちの運動会の応援、クリスマス会への参加等色々な行事に参加する機会を得ることが出来ました。これらの行事に参加させて頂く中で、子どもたちの明るい表情を見て、僕自身今まで思つていた「児童養護施設で暮らす子どもたちは、心身に傷ついた子どもが多い」という少し暗いイメージを払拭させることが出来たような気がします。子供の家の子どもたちは、みんな明るくて元気のある子どもたちばかりです。訪問させて頂く度に僕の方が子どもたちからたくさん元気な声をもらいます。これからはそんな子どもたちの元気な姿を励みにしながら、未永く活動を続けられたら良いなあと思つています。これからも宜しくお願いします。

みなさまのご厚意に心から  
感謝申し上げます



一月十六日(水)、園田競馬場の調教師であられる曾和直榮様より前に引き続き多額のご寄附を頂きました。曾和様は長年調教師として活躍され、今年度は競馬界では名誉賞である「最優秀調教師賞」を地方競馬全国協会から園田競馬場では初めて受賞された、調教師での第一人者であります。曾和様は「今まで色々苦労してきたけれど、いろんな人にお世話になった、その恩返しができるば・・・」と平成十一年から毎年この時期にご寄附をいただいています。なお、感謝状の贈呈式は園田競馬

場内で大和田副管理者様のご同席のもと行なわれました。写真の中央が曾和様、右側が大和田副管理者様、左側が園長です。曾和様、大和田様、ありがとうございました。

寄付・寄贈者と内容

(九月～二月まで)

寄贈

- ・西宮友の会 様
- ・(毎月ありがとうございます)
- ・浜戸 恵子 様
- ・シャトレレーゼ御園店 様
- ・福持 岩雄 様
- ・兵庫県クリーニング 様
- ・環境衛生同業組合 様
- ・河野 貴志 様
- ・重田 清治 様
- ・阪本 宝玲 様
- ・キリンビール(株) 様
- ・神戸支社 様
- ・森田 佳世 様
- ・タイ・ジャパン・エルエルシー 様
- ・木村 悠紀子 様
- ・大東農業協同組合 様
- ・池山 隆寛 様
- ・岡野 博 様
- ・東洋水産(株) 様
- ・阪神ヤクルト販売(株) 様
- ・日本鏡餅組合 様
- ・天理教尼崎北支部婦人会 様
- ・(株)タイ 様
- ・尼崎すし商組合 様
- ・北本 君美代 様
- ・育成調理師専門学校 様
- ・里美 靖子 様
- ・ワイルドメイト 様
- ・(株)サン・フレバー

- ・大黒屋食品 様
- ・(株)あまきゆう 様

寄付

- ・宇都宮 静子 様
- ・重田 清治 様
- ・日蝕興産(株) 様
- ・(株)エヌエス保険サービス 様
- ・レイクスワン
- ・カントリークラブ 様
- ・名神尼崎カントリークラブ 様
- ・塚口西民生児童委員 様
- ・(株)撰津 様
- ・小田地区民生児童委員協議会 様
- ・増富 義孝 様
- ・西田 宜子 様
- ・重田 清治 様
- ・指田 認 様
- ・渡久地 広一 様
- ・西宮友の会 様
- ・水谷 俊平 様
- ・園田教会 様
- ・百合学院 様
- ・曾和 直榮 様
- ・天然温泉あま湯ハウス 様
- ・高木 公子 様
- ・ダイセル化学労組 様
- ・園田地区社協 様
- ・ボランティアに来て下さった方々 (九月～二月まで)
- ・学習ボランティアの皆様
- ・あそびボランティアの皆様
- ・尼崎レオクラブの皆様
- ・散髪ボランティアアツインズの皆様
- ・お話ボランティアラジオの皆様
- ・金光教尼崎教会の皆様
- ・紙芝居ボランティア古橋りえ様

皆様のご厚意に心から

感謝申し上げます

子育て相談事業

子ども家庭支援センター

「キャンディ」の開設

四月から、子育てに関する様々な支援を提供する場として、子ども家庭支援センター「キャンディ」を開設します。ここでは経験豊かな職員が子育てに関するすべての事についての支援を提供いたします。日常の子育てでちょっとした疑問に思った事や不安に思ったこと、また、こんなことが知りたい、教えてほしい等、どんなことでもかまいません。まずは気軽にご連絡ください。お待ちしております。

ファックス、メールでも結構です。(番号、アドレスは表紙にあります)

電話 ○六 六四九一 一八一ー  
時間 午前九時から午後六時まで

あどがき

日中の日差しに春の気配を感じる今日この頃です。春は出会いの季節であり、別れの季節でもあります。施設内でも出会いあり、別れありですが、気持ちよく次の季節を迎えたいと思っています。

